



日本共産党 和歌山市会議員
南畠 さち代

2つめは楠見地域の「和歌山平井太陽光発電事業」で、この6月議会に、楠見地区連合自治会から「計画に反対し、市議会において反対決議を頂きたい」との請願が提出されました。



7月23日、6月議会最終日の本会議で、楠見連合自治会から出された「大規模太陽光発電（メガソーラー）事業に関する請願書」及び議会決議、県知事に条例に基づく申請や森林法に基づく審査にあたり、市民の安心安全の確保が保障されるよう判断を求める意見書案が採択されました。

現在、和泉山脈に計画のメガソーラーが5つあり、和歌山市の条例の対象は2つです。

1つは有功地域のメガソーラーで、先の5月の臨時議会で有功地区連合自

6月議会報告

日本共産党
こんには 市会議員
南畠 さち代 です

平井太陽光発電反対決議案、可決！

No. 85
2019・8・11
連絡先
453-7758

2つめは楠見地域の「和歌山平井太陽光発電事業」で、この6月議会に、楠見地区連合自治会から「計画に反対し、市議会において反対決議を頂きたい」との請願が提出されました。

23日の本会議において34人（1名の増は井本有一議員）の賛成で請願及び議員発議として住民の同意を得ない建設に反対する決議案も可決されました。加えて市議会として、県知事に対し、

意見書案も可決されました。議案採択時には100名を超える市民の方が傍聴されました。運動は山場を迎えていました。なんとしても計画撤回に向け皆さんと一緒に全力で頑張り抜きたいと思っています。

市長にメガ反対署名2万7264筆！

7月29日、有功、直川、紀伊地区的メガソーラー計画に反対する3地区の連合自治会が取り組む署名2万7264筆が市長に提出されました。参加された住民の方の中には直川小学校の保護者の方や開智中学校の方もおられました。市会議員として私も同席させていただき、市長に「是非計画地を見てもらいたい」との発言に、市長は「行きます」と答えていただきました。

※楠見地区のメガソーラー（巨大太陽光発電）を考える会

7月16日、和歌山市に反対署名6130筆を提出し、23日、県に6870筆を提出。また、8月6日、和歌山市に対し第2次署名2558筆を提出し、合計8688筆となりました。署名活動が急速に広がっています。引き続き取り組んでいますので、「協力をよろしくお願いします。

市長、メガ反対要望を非常に重く受け止めている

市の条例の対象となっているのは有功地区・直川地区に計画されている「パワープラント和歌山」と楠見地区に計画されている「和歌山平井太陽光発電事業計画」である。いずれも和歌山県及び市の条例に基づく説明会は終了している。が、住民から説明会の周知不足や計画の危険性の説明不足などの強い不満が出されていることから質問した。



福祉のまちづくりについて

市は「市駅周辺のバリアフリーの重要性は高いと認識している」「工事施工中の対策としている」。市は「市駅周辺のバリアフリーの重要性は高いと認識している」との声があり、ウォッキングマストを利用する際に困った」との声があり、ウォッキングマストをした。バス停の位置の変更、誘導ブロックの先が行き止まり、バス乗り場に段差、点字ブロックが敷設されないなど危険な箇所が幾つもあった。市駅周辺のバリアフリーについて市の認識と対応について質問をした。

南海市駅前周辺の再開発事業に伴い、視覚障がいの方が「駅を利用する際に困った」との声があり、ウォッキングマストをした。バス停の位置の変更、誘導ブロックの先が行き止まり、バス乗り場に段差、点字ブロックが敷設されないなど危険な箇所が幾つもあった。市駅周辺のバリアフリーについて市の認識と対応について質問をした。

市長が事業計画案に基づき環境に一定の影響があると認められる自治会を示す。それに基づき説明会の開催は事業者の判断でおこなう。※計画の危険性について、専門家の協力を得て作成した資料を提出し、有功地域の計

(表面よりひびき)
質問 説明会の対象自治会についての判断はどうがするのか。
答弁 事業者が提示し、その後、市が事業計画案に基づき環境に一定の影響があると認められる自治会を示す。それに基づき説明会の開催は事業者の判断でおこなう。

画地の土砂災害予想図、昨年の西日本豪雨直後の千手川の斜面崩壊などの写真、楠見地域の計画図の盛り土の最大高さ34m、切り土最大高さ40mの計画図を説明した。

質問 市長として住民の命や暮らしを守るという重要な責任がある。計画を不安視する住民から市長に対し署名や要望などが届いていると思うが、どう受け止めているのか。

市長答弁 山林伐採により

保水機能が低下することによる水害や土砂災害、また自然環境や生活環境への影響に対する懸念から大規模な太陽光発電設備設置に反対する要望書や意見書等が各地域から多数寄せられている。こうした要望や意見等は非常に重く受け止めており、「和歌山市環境と大規模な太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例」の中でしっかりと審査していく。

が、工事を進める」「再開発事業は令和2年春の竣工を目指し、今後も安全対策に十分配慮しながら取り組む」と答弁しました。

さらには「原因はどこにあるのか」と質問すると、市は、「交通誘導員の配置は、休日の対応が出来ていなかつた点は配慮にかけていた。今後は的確に実施するよう業者指導を徹底していく」。

市長は「関係機関と連携しながら適宜、事業の計画段階および事業中に障がいのある方々から意見を伺い、安全・安心なまちづくりに取り組んでいく」と答弁しました。

無料生活法律相談

日時：9月6日（金）

午後6時～7時

（曜日と回数が変更になっています。ご注意下さい）

会場：河西診療所組合員ホール

申込：南畠幸代まで

無料生活相談

日時：毎週木曜日、午前10～12時

（電話での相談は常時行っています）

会場：南畠幸代生活相談所

TEL 453-3418、453-7758(自宅)

和歌山市善明寺411-4

相談実施中は看板を出しています

お問い合わせは南畠幸代まで

435-1113（日本共産党市議団直通）

5月～7月の生活相談件数

国保：2件 道路：2件 年金：1件

生活保護：7件 その他：6件

滝畠産廃

事業者に川の工事施行と占用不許可！
滝畠の産廃処分場計画について、7月25日、和歌山市は法定外公共物管理条例に基づき不許可と決定しました。滝畠川は法定外公物です。市の文面では「公衆の使用に供することを目的としているため、工事にはその利害関係者の同意が必要であり、利害関係者として滝畠、上黒谷自治会および水利権者が該当すると助言し、申請人に対しこれらの同意を得るよう指導を行ってきた。市は十分な補正期間を設けたにもかかわらず、滝畠、上黒谷自治会の同意を得る作業が認められず、水利権者の把握を行う

裁判に訴えてくることも予想されます。計画撤回まで住民の皆さんと一緒に頑張っていただきたいと思います。

バーベキューと親子釣り大会

日 時：8月25日(日)
(雨天中止)

集 合：午前10時30分

現地集合

場 所：田ノ浦浪早ビーチ

参加費：大人 1,500円

小中 1,000円

河北ブロック後援会

連絡先：090-6673-2646

(南畠さち代)

意志も認められなかった。以上から本申請に必要な利害関係者の同意を今後も得られる見込みがないものと判断されたためとしています。今後、事業者は市に対し審査請求や申込みが無いものと判断され